

第十二回 上林曉忌短歌大会

入賞作品

選者 小島 ゆかり 先生

【特選】

10 梅雨雲の広がるけふの一人旅へ世界は一冊の本をポケットに入れて

高知市 入交 芳子

72 考えても考えても子よ変わらぬぞほつとけほつとけほととぎす鳴く

黒潮町 藤近 容子

84 草の穂は草の穂としてそよぎをり 国民のためといふことば嘘

黒潮町 小橋芙沙世

【植田馨賞】

70 死ぬことを忘れちゃったと囁いて媼百歳ふふと笑う

香南市 竹村 廣子

【秀作】

25 おばあちゃん助けてと言ふ乾燥機まあんたかね丸まりてゐき

香美市 町 耿子

54 うぶすなの森の落葉のかさこそと命のうごく赤手蟹うごく

土佐清水市 福富奈加子

74 シヤガールの空飛ぶ男と女にはとぶほどの理きつとあるべし

高知市 柿内 光彦

75 白き指きゆきゆつと鳴らし渚ゆく青春の日のまばゆき中を

南国市 前川 竜女

86 七色に変はる車軸の観覧車月を従へ夕日見送る

香美市 古川 安子

【佳作】

9 地区内の清掃奉仕に出ざりしを負債のやうに思ひ暮れゆく

高知市 久保田和子

12 ヒマラヤに咲くとふ青いけしを思ふつゆ入り前の雲なき空に

高知市 五藤 有子

27 ふくろうの啼いて来る夜は過去人を思い出させてさみしく聞けり

四万十市 北村 卓弘

37 朝早く窓を開ければ庭先の鉄砲百合が吾を待ちをり

四万十市 浜田 重美

39 白み行くしじまの中の我が里を声響かせて鳴くほととぎす

四万十市 東 利江

41 熱帯魚一千円について来るタイのお守りポクポン人形

高知市 中島由美子

57 花を待ち息子らまちて友を待つまつことありて日々は楽しき

高知市 田中 洋子

80 底ごもる海鳴りの音「国民」の「世界平和」のためと総理は

黒潮町 谷脇 巴

87 友逝きて茶毘の煙は灰白く五月の山は輝きており

土佐清水市 池 英夫

92 水平線から積乱雲が湧き出てサーファーら戻るボード抱へて

黒潮町 大西久羅子